

北信地区野球協会

令和7(2025)年度 定期総会

議案書

期日	令和8年 2月7日(土)
	受付 13:00~13:25
	定期総会 13:30~14:45
	研修会 15:00~17:00
	懇親会 17:30~
会場	ホテル国際21



定期総会 内容

司会者 丸山 晃実（北信地区野球協会 総務委員長）

1. 開会の言葉

2. 会長挨拶 村上尚三

3. 議長指名と総会成立報告

4. 議事

第1号報告 第8回北信野球の日について

第2号報告 第3回ティーボール大会について

第3号報告 幼保連携事業

第4号報告 令和7年度 事業報告

第1号議案 令和7年度 収支決算

第2号議案 令和8年度 事業計画

第3号議案 令和8年度 予算案

議長退任 質疑応答 意見交換

5. 連絡 その他

6. 閉会の言葉

○研修会

信頼されるグッドプレーヤーを育てるために
—野球を通して人生を豊かにする

「スポーツマンシップ」を考える—

講師 中村聰宏氏

一般社団法人 日本スポーツマンシップ協会 代表理事 会長

第8回 北信野球の日 実施報告

北信地区野球協会 総会
令和8年2月7日(土)
@ホテル国際21

関わった人数

【オリスタ参加者数】

- ・第1部 1083名
- ・第2部 423名
- ・総数：1506名

※第6回1121名

※第7回1751名

【運営関係者】

- ・硬式野球部員 369名
- ・ソフトボール部員 37名
- ・大人 48名
- ・総数454名

内容

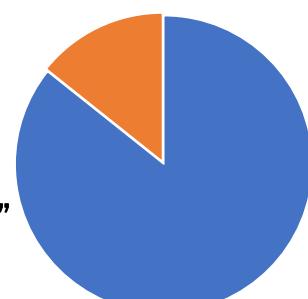
- ・コンシェルジュ → 全チームに機会を
- ・キャッチボール
- ・ストラックアウト
- ・スピードガン
- ・ホームラン競争
- ・ソフトボール体験
- ・ソフトボール対野球
- ・運動プログラム

子どもアンケートより

- ・「楽しかった」→593回答
- ・「楽しくなかった」→0回答
- ・満足度→100%

保護者アンケートより 【満足度】

参加満足度

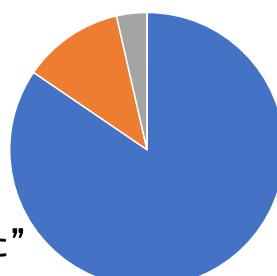


7割が“大変良かった”
と感じている

■ 大変良かった ■ 良かった
■ どちらともいえない ■ よくなかった

保護者アンケートより 【コンシェルジュの対応】

コンシェルジュの対応



7割が“大変良かった”
と感じている

■ 大変良かった ■ 良かった
■ どちらともいえない ■ よくなかった

野球の日に参加しての感想(抜粋) 【肯定的】

- 野球未経験の子でしたが、とても楽しそうに投げたり打ったりしていました。親としてとても嬉しかったです。
- 高校生にアテンドしてもらって嬉しそうでした。野球をやっているお兄さんに褒めてもらう事は素敵な体験でした。
- 高校生のお兄さん達が、プラスの声かけをたくさんしてくれて、子どもたちがとても喜んで楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- 子どもが野球に触れる入り口として大変いい機会なので継続して欲しい
- 小さい子も楽しめるように接してくれて良かったです。
- 野球の楽しさを知るきっかけになると思い、これからもずっと続けて頂きたいです。
- 今まで野球に触れ合う機会が無かったのですが、初めて子どもに野球を体験させてあげられました。とても楽しんでいました。高校生の皆様も丁寧に優しく教えていただき、感動しました。

野球の日に参加しての感想 【反省になるもの】

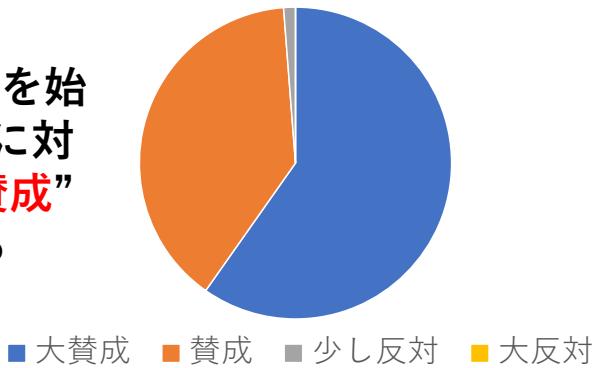
- 昨年あったラグビーなかったのは残念
- 運動プログラムとキャッチボールがちょっと危ないです
- 入場までに時間がかかったので、入場の動線が分かりやすければいいなと思います
- サッカー教室のように、平日にあって、送迎だけで良いような野球バージョンがあればと思いますが、難しい背景があるのも分かります。

その他のアンケート項目について

お子様が野球を始めることに対して

子どもが野球を始めることについて

**9割は野球を始
めることに対
して、**“賛成”**
である**



お子様が野球を始めるにあたり 【期待すること】

- ・子供の「楽しい」を尊重してほしい
- ・現代に合わせた指導（考え方、練習時間、指導内容など）
- ・外で体を動かす。体力の向上
- ・一生の友達を作ること。チームワークや自主性。
- ・とにかく楽しく前向きにやってくれたら嬉しい
- ・野球を通じて人間性を育んでほしい。礼儀や人との関わり
- ・野球を好きであり続けられるような指導の仕方を工夫して欲しい。
- ・勝ち負けだけではない、チーム競技の素晴らしいところ。

お子様が野球を始めるにあたり 【気になること】

- ・昔の考え方のチームは避けたいなと思います。
- ・いつから始められるか
- ・野球人口が減り、満足に野球できる環境が少ないと感じます。
- ・保護者の負担。道具代。
- ・体力が続けられるか心配です。
- ・友達と仲良くできるか心配
- ・土日練習で大変じゃないか
- ・子供がちゃんと練習に行くか心配です。
- ・小学生の野球は土日にやっているので、なかなか都合がつかない点。はじめたら欠席しにくいのでは。親の当番。仕事で行きにくいこと。

反省と考察

- ①アンケート結果やコメントを見る限り、野球の普及イベントとしての役割を十分担えているいるのではないか
 - ・過去回の積み重ねや時期が固定化されていること、SNSや教育施設を通した広報の効果で浸透がされてきている。
 - ・長野オリンピックスタジアムという環境がこれだけの集客に繋がっているという印象も

- ②野球のイメージを払拭できているか
 - ・スポ根、保護者の負担、道具代の高騰、休日の拘束時間

今後に向けて

- ①来年の北信野球の日について
 - ・令和8年11月29日(日)
 - ・【会場変更】長野オリンピックスタジアム→**長野県営球場**
→意志や思いの継承の一方で、変化を恐れないイベントに
 - ・**懸念事項**
→各ブースの再検討、コーン＆バーの確保、ゲージの確保、駐車場の誘導、外壁問題

- ②アンケート結果の反映
 - 今回の参加者については野球をやらせることに非常に肯定的
 - 幼保・U-12カテゴリーとの連携

以上

小中野球交流会 反省

担当：西元達郎（南長野 BBC）

(1) 会場・参加チーム・参加者数

支部	会場	責任者	参加チーム（小）	参加チーム（中）	人数
飯水	城南中学校	今井先生 (安川)	長峰北・戸狩・飯山 泉台・	みゆき野軟式野球クラブ 飯山リトルシニア 木島平・野沢温泉中学校	70名
中高	中野西高校	小嶋さん	中野・延徳・平野	アストロズ・中高クラブ	63名
須高	須坂創成高校	木村さん	高山・臥竜・小布施 日滝・日野	東クラブ・高山シニア	86名
長野 上水内	長野高校	中村さん 池田さん	上松・若槻 浅川・豊野	北部クラブ 東北・小布施クラブ 長野北シニア	68名
	長野商業高校	中土さん	信濃・飯綱・中越	五岳 BBC・東柳クラブ 長野東シニア	69名
	長野工業高校	宍戸さん	栗田・戸隠加茂 南部上高田 長野 Regulus	長野日大・南部球友 長野ボーイズ	83名
	長野東高校	小玉さん 小林さん	緑ヶ丘川合新田・三輪 朝陽育成会 長野東ジュニア	Sクラブ・三陽・長野東シニア・長野東ガールズ	74名
南長野	篠ノ井高校	小林さん	宮前・ニツ柳、柳沢・ 塩崎・共和・日新	篠ノ井 WEST・長野ボーイズ	55名
	松代高校	西元	西寺尾・氷鉋・松代 御厨神宮・寺尾	長野 K unions・千曲川軟式野球・長野南シニア 千曲ボーイズ	98名
	長野南高校	井出さん	丹波島・青木島 真島	長野 K unions 長野南シニア	66名
	更級農業高校	山本さん	南原・横田唐臼高田・ 会御幣川	篠ノ井 WEST・篠ノ井 EAST 千曲ボーイズ	65名
千曲	屋代高校	峯村さん	戸倉・八幡・千曲東・ 屋代・坂城・埴生	更埴北・更埴南・ 坂城千曲シニア	93名
合計					890名

(2) 反省・引き継ぎ事項・いただいたご意見

【前日まで】

- ・体調不良等で当日欠席者もいたが、昨年度よりも参加人数が多かった。早めにアナウンスしたこともあり、小学生チームの参加申し込みが多くなった。

- ・〆切を過ぎてからの参加申し込みが数チームあった。
- ・支部ごと計画していただいたが、支部によって実態が違うため、良い方法だった。
- ・事前担当者打ち合わせを各地区でやったほうがよいのか、全体で集まってやったほうが良いのか検討が必要である。
- ・中学の担当者から高校の担当者への事前連絡が直前となってしまった会場があった。早めに連絡をし、借用する物品やトイレの場所などについて確認をしておく必要がある。
- ・グランドのラインを前日に引いていただきありがとうございました。
- ・飯水地区は雪や気温、グランド状態も含めて、他地区より前倒して来年度も実施していきたい。

【当日】

<城南中>

- ・事前に各中学団体とグループラインで確認しながら、「Tボール試合」「ホームラン競争」「スピードガンコンテスト」「ストラックアウト」「スイングスピードコンテスト」「硬式体験」と各ブースに分けて実施した。今後も同様の内容で実施していきたい。また今後も城南中学校のグラウンドが使用できるとよい。
- ・大きな怪我やトラブルなく実施できてよかったです。多くの大人たちが参加することで、安全管理がなされていたと思う。主催は協会だが、当日の運営は中学側だけでなく学童の指導者にも関わってもらうことで、安全管理・交流をさらに深めていきたい。
- ・できれば初心者の小学生を多く巻き込んで、実施をしていきたい。野球をはじめるタイミングとしては、中学生がラストチャンスかもしれない。学童チームへの参加の呼びかけだけでなく、各小学校の、これから野球をしてみたい、興味があって体験してみたい生徒へどう声を掛けていくか、検討していきたい。

<中野西>

- ・多くの中学生が小学生の面倒をよく見てくれた。
- ・思ったよりもスピードガンコンテストが楽しそうだった。周りの人がアドバイスしながらベストピッチを目指している姿が微笑ましかった。
- ・参加者が入力したメールアドレスが間違っており、連絡ができないということがあった。

<須坂創成>

- ・小学生が元気よく挨拶をするなど積極的に参加してくれて良かった。
- ・普段は別のチームで活動している中学生同士も楽しそうに交流する姿があったので良かった。
- ・中学生はお手伝いだけでなく、一緒にプレーできるような活動を取り入れられると良かった。

<長野>

- ・小学生にとっては硬式、軟式両方の経験ができよかったです。
- ・毎年、長野高校小池先生が積極的に準備・運営に関わってくださるため、大変ありがたい。
- ・ここ数年同じような内容が続いているが、そろそろ新しい取り組みも必要かな、と感じているが、小学生からすれば初めて参加する選手が多く、満足度も高いように見受けられるのでこのままでもいいかな、とも感じている。
- ・中学生の人数が小学生を上回り、少々持て余してしまっている感があった。

<長野商業>

- ・天気、グラウンド状況ともに良好で気持ちよく野球ができた。
- ・当日、体調不良で欠席者が多くいた小学生チームもあったが、中学生が空いたポジションに入って交流戦をうまく回してくれた。「小学生の前でエラーができない！」「かっこいいところを見せたい！」こういう緊張感があって、とても楽しく盛り上がった。人数が足りていても、中学生を守備に数人入れていくと一緒にやっている感じがあっていい。
- ・硬式体験は、長野商業さんのご厚意で室内練習場だけでなく、外野奥でノックやロングティーなどもやらせていただけた。
- ・各チームのスタッフの方々がとても協力的に動いてくださって助かりました。感謝です。

<長野工業>

- ・昨年度までの形を継承して行ったが、今年は参加した小学生は減少したのに対して中学生は増加していた。せっかく中学生が多くいたので、もう少し、中学生から小学生に対してアドバイスや助言を増やせるような工夫をすればよかったです。
- ・「この交流会の目指すべき方向性をいま一度考えたほうがいいのではないかなと思いました。
→野球を継続する人口を増やすことを目的にするのであれば、中学生が小学生に技術指導を行う形や小中ともに指導者は多く来られているので、硬式・軟式球に限らず、高校生が中学生へという形式でもいいと思いまし、打撃・守備など分野別の野球教室のような形式（雑談でもいいと思います）にしてもいいのではないかと思いました。

<長野東>

- ・最初はなかなかチームの輪に入れず困り顔をしていたが、徐々に表情もやわらぎ最後にはチームの仲間と声を掛け合ったり会話している姿を見て、改めて野球の人と人とを繋ぐ力、野球の素晴らしさを感じることができた。
- ・3アウト目を取った選手を讃えるという点は非常にいい取り組みだと感じた。
- ・ウグイス嬢の選手紹介が良かった。
- ・子供達が本気で楽しんでいて保護者も楽しめた。
- ・他チームと野球ができて刺激になって楽しかった。
- ・6年生同士すぐに友達になれた。また、中学生と仲が深められ良かった。
- ・景品が貰えることでやる気が出たり、楽しませてくれて良かった。
- ・硬式も体験出来てよかったです。シニアにも繋がる良い経験になった。
- ・自チームのOBの成長をみることができて良かった。
- ・各選手守備が上手くなかなか点が入らない場面が多かった。内野と外野を1回ずつ入れ替える（1回表に内野を守った選手は2回表は外野）にするともう少し偏りが緩和されるのかなと感じた。
- ・打点を挙げた選手などに賞があるといいと思った。チャンスに強い選手、勝負強い選手はステージが上がれば上がるほど重宝されるので、その感覚を言葉で伝えることはなかなか難しいので、感覚的に伝えられると子供達にとってもいい経験になると感じた。
- ・グラウンドにいる親御さん含め、たくさんの方々一つのグラウンドで同じように野球をするという日は、なかなか無いので、良いプレーがあった時には全員で拍手を送りましょうなど、良いプレーをグラウンドにいる全員で称える取り組みがあるとより盛り上がるのかなと思う。
- ・混合チームでの試合は、他のチームの選手とあまり馴染めなかった。
- ・盗塁があった方が盛り上がったのではないか。

- ・主催者の意図があまりよくわからなかった。(メインは試合?公式の体験?)
- ・試合では中学生がもっとチームを盛り上げてほしかった。
- ・試合で一部の選手が楽しめていなかつたように見えた。
- ・試合は守備人数を増やさずに、本気の対戦(通常ルール)でも良かったと思います。
- ・小学生もピッチャーに入ってもよかったです。

<篠ノ井>

- ・会場校にグラウンド整備を丁寧にしていただき、素晴らしい環境のもとで交流会を進められた。
- ・交流試合は第2試合から1ストライク制にして行った。展開が早くなり、ゲームの内容も盛り上がった。
- ・今年度も交流試合を行いながら周りで硬式体験を行う方法をとった。長野ボーイズの選手や指導者の皆さんには同じ内容を繰り返すことになり大変だが、小学生は試合→硬式体験→試合のようにローテーションで行うことができ、メリハリのある内容になったと思う。
- ・試合の合間のグラウンド整備等、WESTの選手や少年野球の保護者の皆様のご協力によってスムーズに行われ、滞りなく交流会を進めることができた。
- ・中学生が中心となって守備位置や打順、作戦を考えていた。中学生にとってもよい学びの場になっている。また話し合うことで異チーム間の交流にもつながった。
- ・もしマイクを使わせていただければ、連絡等がさらにスムーズになったと思う。

<松代>

- ・高校のグラウンドという恵まれた環境の中で、活動ができ、大変有難かった。
- ・小中学生が交流することができ、貴重な機会となった。
- ・事前に名札を作ってきてもらったことで、朝のチーム分けからアップへの移行がスムーズになり、アップの時間も十分に確保することができた。
- ・普段審判をやることがないため、生徒はよい経験になった。
- ・寒い+時間も限られているということもあり、ゲームを1ストライクから始め、4イニング制にしたこと、試合展開の早い、締まったゲームとなり、盛り上がった。
- ・昨年度は試合がのがび、全体の解散時刻が遅れてしまったり、硬式体験の時間が短くなってしまったりしたことが反省で上がっていたため、今年度は交流試合の裏側で硬式体験を行った(右中間奥で)。それにより、交流試合の時間も確保でき、また硬式体験も時間をとって行うことができた。
- ・中学生の参加人数が多かったため、中学生は小学生と関わる時間と中学生同士で交流する時間(一緒に走ったり、トレーニングをしたり)がとれて、お互いを知ることや、オフシーズンに向けてのモチベーションアップにつながった。

<長野南>

- ・中学生、小学生ともにコミュニケーションを取りながら活動していました。
- ・昨年同様小学生のチーム分けを少年野球指導者の方がしてくださいました。今年は6年生が少なく、5年生も参加していたため助かりました。
- ・人数の問題で足りないポジションがあり、中学生に入ってもらいましたが、手を抜くことなく守備をこなしていく小学生から「うまいなあ」という声も上がっていたので結果的によかったです。
- ・硬式体験を試合の裏で同時進行するようにして、硬式体験の時間を確実に確保できるようにしました。南シニアの方にも好評で、来年以降もこの形でお願いしたいとのことでした。いっぽうで体験中チームの担当中学生が手持ち無沙汰になってしまったので、何かしら用意すべきだったとも思いました。

<更級農業>

- ・会場校で道具を借りることができ、助かった。
- ・準備では、中学生が積極的に動き、短い時間で準備をすることができた。
- ・ティーバッティングで行うゲームは、テンポが速く好評だった。
- ・会場と活動内容の事前の確認が甘く、ネットに向かってティーバッティングを行っていたら、穴の開いているところからボールが飛び出し、民家の窓を割ってしまった。会場の確認と練習内容の確認は、丁寧に行う必要がある。バッティングを行うときは、くれぐれも確認したい。湯本さんに迅速に対応していただき、保険で賄うことができました。ありがとうございました。
- ・担当者が途中で抜け、ご迷惑をおかけした。担当者は、会場にいられる者が務め、全体を把握できるような形にしておく。
- ・交流を重視しようと事前に6チームに分けたが、小学生の当日欠席が多く、予定通りの内容で進めることができなかつた。感染症がはやる時期なので、チーム分けは、当日決めてもよいくらいか。

<屋代>

- ・会場を高校の方で事前に準備していただきてあり、大変ありがとうございました。
- ・軟式の指導者や選手は交流試合を担当し、シニアの指導者や選手は硬式体験を担当するように分けたことでスムーズに行えた。
- ・シニア指導者が多く参加してくださり、安全に行うことができた。
- ・サポートをする軟式の中学生にとっても、公式を体験する機会になった。
- ・交流試合は、45分間で1-1から始めて、3イニング程度で早い試合展開になり盛り上がった。
- ・全体の会以外は、できるだけ中学生が主導で動けるようにしたことで、小中学生どちらにとっても前向きな参加につながったと思われる。
- ・中学生には小学生と積極的にかかわることを事前に打ち合わせておくとスムーズにできる選手もいる。
- ・アップを始めてから交流試合までが思っていたよりも忙しかった。
- ・アップのキャッチボールや試合中の練習で使うボールについて、事前に決めて指示を出せばよかった。
- ・硬式のロングティーは、時間が押してしまったため、当初の予定より時間が短くなり20分程度になってしまったが、間延びせずにできたとも思うので、来年度は時間配分を検討する。

第3回長野県ティーボール大会 開催報告

長野県野球協会と北信地区野球協会は11月16日(日)にU-10(小学1~4年生)対象の「第3回長野県ティーボール大会」を選手約200人、家族や指導者ら約600人、計約800人の参加のもと、長野オリンピックスタジアムにて盛大に実施しました。

ティーボールは投手が投球する代わりに、棒状の台(バッティングティースタンド)にボールを置き、バットで打つ競技であり、野球への入り口として親しまれています。今回は第3回大会ということで、連続出場したチームを中心にスピード感のあるプレーや正確なプレーも多く見られました。普段は基本練習に偏りがちな年齢の子も試合の中で動きを学んだり、声を掛け合ったりする姿があり、野球の楽しさの一端に触れる機会となりました。何より「チームの一員として大会に参加し、プレーできた時間は今後のモチベーションアップにつながる」と各チームより声が寄せられました。

【力を込めてバッティング!!】

【広々とした人工芝ヘスイング!!】



太陽の光が射し、野球日和の中、東北信地区の計14チームが参加しました。また、県内各地から、個人として参加する子もいました。午前は3ヵ所の特設ダイヤモンドで、3ブロックに分かれ、順位を決める予選リーグを、午後は一発勝負の決勝トーナメントと交流戦を実施しました。接戦の試合が多く、最後の打者まで勝敗がわからない好ゲームばかりでした。

★★大会結果★★

優 勝	KKベースボールクラブ
準優勝	延徳ネクサスライオンズ
第三位	みゆき野ティーボールクラブ
第三位	上田南

今大会も「野球やソフトボールを始めるきっかけとなってもらいたい」「打つ・捕る・投げるといった競技性に触れ、楽しさを味わってもらいたい」「子どもが楽しむ姿を保護者に見てもらい、一緒に楽しんでもらいたい」という願いをもって大会を運営しました。選手全員が参加できる試合形式が共感を呼び、笑顔と歓声の絶えない大会となりました。保護者からは「普段は試合に出ることがないので、試合をしている姿が見られて嬉しい」「子どもが楽しかったと言っていた」「伸び伸びプレーしていて雰囲気がよかったです」などの声が寄せられました。

★優勝★ KK ベースボールクラブ

★準優勝★ 延徳ネクサスライオンズ



★第三位★ みゆき野ティーボールクラブ

★第三位★ 上田南



子どもたちの真剣な眼差しと笑顔は未来へつながる宝物です。今大会を通じて、昭和の時代に小学校の校庭でバットを用いずに手でゴムボールを打つ「ハンドベースボール」で仲間たちと楽しんでいた光景が連想されました。小学生にとって、投手がストライクを投げ続け、打者が正確に打つのは難しいものがあります。その点でティーボールは5, 6年生で野球を本格的に始める先駆けとして取り組む競技としてふさわしいと感じました。練習試合や紅白戦でティーボールを行ってみてはいかがでしょうか。

野球人口の底辺拡大と野球振興をめざす長野県野球協会は、来年度も北信地区野球協会とともに、「プレーをする楽しさ」と「勝敗を競う楽しさ」を融合した大会を開催したいと考えております。併せて、今後、ティーボールが他地区にも広がるように、発信に努めてまいります。

【塁間16m 全力疾走☆】

【ボールを捕るのも楽しいぞ！！】



I 令和7年度 組織構成と役割

<総務委員会>

- ・年1回の総会の企画・準備・実施。各委員会との調整。

<寄付委員会>

- ・寄付の募集、ポスター作成、イベントでの協力企業掲示、コングランツの運用。

<一般会計>

- ・協会全体の予算管理、決算業務、運営。

2 令和7年度実施事業と成果・課題

① 総務委員会（総会の運営）

成果：3か月前から準備を開始し、事務局や各委員会と密に連携することで、計画的な運営ができた。

課題：総会の内容をより精選し、指導者研修など参加者に価値のある形を模索し続ける必要がある。

② 寄付委員会（寄付活動・会員募集）

成果：各カテゴリーの大会でのポスター掲示や、コングランツを活用した領収書発行など、募集を継続した。

課題：目標金額70万円に届かなかった。賛助会員（企業・個人）の更なる獲得が必要。特に「北信野球の日」の道具の老朽化による買い替え費用、物価高騰による会場費増など、支出が増加傾向にあり、理事・役員の協力による積極的なお声掛けが不可欠である。

③ 一般会計（会計業務・運営）

成果：部制移行に伴い、各委員会の予算執行を整理し、透明性の高い会計処理に努めた。

課題：イベント増加に伴う資金繰りの管理。限られた予算内での旅費支給の継続など、効率的な配分が求められる。

3 【総括】

- ・財務部として初めての1年であったが、総会運営については概ね計画通り実施できた。一方で、財政面ではイベントの増加や物価高騰、備品の買い替え（野球の日の道具等）といった支出増に対し、寄付金が目標に届かなかったことが大きな課題である。
- ・来年度は、Zoom等を活用して部内会議を定期的に開催し、寄付金目標額の達成に向けた具体的な戦略（個人会員の拡大など）を強化していきたい。

4 寄付にご協力いただいた、企業・団体様、個人会員様（次ページ）

多くの皆様に、寄付をいただきました。

寄付いただいた皆様、ありがとうございました。

普及・継続部 令和7年度事業報告

委員長 宮崎 平（須坂創成高校所属）

1 令和7年度の活動方針

普及・継続部として初年度となる。各委員会の連携のもと野球人口増加・競技継続につながる活動を継続と模索をし、深める。

2 令和7年度活動目標

- ① 野球人口増加に向け、未就学児へのアプローチ
- ② 経緯と成果の分析から普及イベントを充実させる
- ③ 野球交流会の運営委員会を立ち上げ、競技継続の一助とする

3 令和7年度実施事業

- ① 第8回北信野球の日
- ② 野球交流会
- ③ 幼保へ野球普及

4 活動目標に対する成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none">・第8回北信野球の日では、例年通りの入場者数があり、イベントの認知度の広まりを感じる。委員長が丸山に変わったが、滞りなくイベントが成功に終わった。委員長の丸山を中心に、委員会の成長を感じた。・野球の日実行委員会同様に委員会の成長を感じた。今回で4回目となる交流会であるが、各所にて参加者の増加が報告され、盛況となった。・幼保普及推進委員会は今年度から立ち上がった委員会であるが、委員長の宮崎の尽力もあり、保育園の運動会に野球種目を導入することとなった。	<ul style="list-style-type: none">・野球の日について、今回もそうだが、会場側からの制限のある中でも、できることを模索し成功に導いた。次回は長野オリンピックスタジアムが使用できないため、さらなる工夫が必要となる。第1回の野球の日の感覚で臨みたい。・野球交流会について、会場ごとの連絡報告の徹底をお願いしたい。会場責任者は負担になるが、野球を続ける子どもにとって、交流会は貴重な場になるので、引き継ぎ協力をお願いしたい。・幼保推進についてはまだ発展途上の委員会であるので、引き継ぎ模索をお願いしたい。

【総括】

普及・継続部の活動としては、野球の日実行委員会と野球交流会運営委員会は従来通りの活動となり、各委員会で試行錯誤してイベントを成功に導いた。引き継ぎ委員長には委員会の運営をお願いしたい。幼保普及推進委員会については、幼保への普及はハードルの高さを感じる。その中で、保育園への普及活動は大きな一步となったことは間違いない。地道な活動が大きな成果になるのはと期待している。

指導・競技力向上部 令和7年度 事業報告

部長 齋藤 貴弘

1 活動方針

- ・指導者の指導力向上を目指しての講習会の実施や、県協会のライセンス取得の推進
- ・選手の技能向上や健全育成を目指して U10, U12, U15, U18 の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会や大会の実施。（一貫した指導体制の確立）

2 活動目標

自ら考え、学ぶ選手の育成

～長野県野球育成指標に基づいた指導者の指導力向上と選手の技術力の向上、健全な育成～

3 部内の委員会と所管事業

(1) ティーボール大会運営委員会

- ①ティーボール大会の開催(11月中旬)
- ②ティーボールの普及

(2) 長野市中学生野球大会運営委員会

- ①長野市中学生野球大会の企画と運営(11月)
- ②長野市以外の地域大会の協力と大会の在り方についての検討と提言

(3) 講演会企画委員会

- ①北信指導者研修会の企画と運営(2月)
- ②指導者ライセンス取得の情報提供
- ③技術講習会、指導者講習会の企画と運営(通年)

(4) 野球教室委員会

令和7年11月30日の北信野球の日に、北信地区2会場で、学童を対象とした野球教室を開催。

4 成果と課題

事業	成果	課題
(1)	認知度が高まってきており、多くのチームに意欲的な姿勢で参加、学童チームに所属していない子供達でのチームも作り、委員が監督を務め楽しんでもらった。普及としての効果が非常に期待できる実感を得た。	定期的な活動に至っていない。普及としての効果が非常に期待できることから、今後は普及部の事業に移行し、底辺拡大を図りたい。また、今年度は北信地区の学童大会と日程が重なったことから、日程調整を図りたい。
(2)	長野市スポーツ課に、参加チームを長野市以外に拡大することにご理解いただき、「北信地区中学生野球大会」の名称で開催した。	U-15 カテゴリーだけでなく、学童カテゴリーでも特別レギュレーションでの大会運営を推奨したい。実際に開催している支部もあるので、そのような情報を委員会で把握し、全体へ普及させたい。
(3)	指導者研修会の講師の選定を夏頃に行い、素晴らしい講師を招くことができた。	指導者が定期的に学ぶ場をつくっていく事業の必要性を感じている。
(4)	信濃グランセローズ様、信越クラブ様のご協力をいただき、例年通りの開催できた。	参加チームのニーズを吸い上げ、開催形態を工夫していきたい。

5 総括

ティーボール大会や指導者研修会は、ここ数年間の取り組みで認知度も高まり継続的な事業を展開することができている。年間を通しての定期的な事業展開が課題であり、この実現には各チーム指導者を始めとする多くの関係者の参加が必要になる。自チームだけでなく、各支部、北信地区全体の競技力を向上させるという視点を大人がもつことが大切だと感じている。「良い選手を育てるためには、まず良い指導者を増やす」という考えのもと、多くの指導者の力を北信地区全体に波及させられるような事業体制を構築したい。

令和7年度 収支決算報告

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

北信地区野球協会会長 村上 尚三
会計 小玉 泰明

収入	1,612,385	円
支出	1,424,374	円
差引残高	188,011	円

【収入の部】	収入	1,612,385	円
--------	----	-----------	---

(内訳)

		金額	摘要
総会	参加費	120,000 円	内訳 1000円×120名
寄附金	長野県高校野球OB・OG連盟北信支部	60,000 円	
	コングラント	40,581 円	
	個人・企業・団体	530,592 円	
補助金	長野県野球協会	646,000 円	
謝礼金	長野市スポーツ課	20,000 円	
利息		288 円	
令和6年度からの繰り越し		194,924 円	

【支出の部】	支出	1,424,374	円
--------	----	-----------	---

(内訳)

		金額	適用
総会、ティーボール大会、野球の日	会場費	167,220 円	総会 119900円 ティーボール大会 47320円 野球の日 0円
総会、野球の日	接待費(交通費、謝礼費、昼食代を含む)	230,873 円	総会 80673円 野球の日 150200円
北信野球の日実行委員会、普及委員会	アトラクション・ブース消耗品費	304,761 円	
北信野球の日実行委員会、広報委員会	広告宣伝費	234,069 円	
ティーボール大会、野球の日、広報委員会	保険費・雑費(輸送費、通信費等)	94,220 円	ティーボール大会 15340円 野球の日 78880円
指導力向上委員会	北信地区交流大会運営費(中学生)	38,520 円	
総務委員会	会議雑費(事務用品)、旅費	354,711 円	

・差引残高は、次年度に北信地区野球協会の会計へ繰り越されます。

会計監査の結果、上記のとおり間違いないことを認めます。

令和 8 年 / 月 22 日

小 山 大 貴

印

湯 本 浩 行

印

提案2(1~3)

長野県北信地区野球協会 会則第8条および第9条に基づき、令和7年度は任期1年が終わる。が、諸事情で理事が変更になるため、その部分のみ、令和8年度の理事役員改選について、次のように提案する。

1 R8年度事務局について(新)

事務局長(兼北信地区地区長) : 長谷川 良人(北信中体連)
副事務局長(財務部長) : 小林 大真(北信中体連)
副事務局長(普及・継続部) : 宮崎 平(北信高野連)
副事務局長(指導・競技力向上部長) : 山本 一博(北信中体連)

2 専務理事について(新)

令和7年度の全体事業方針から、新事務局長、各部長への補佐など、執行部に、理事との潤滑油の役割として「専務理事」を置き、円滑な事業展開につなげる。幹事のみならず理事も含めた理事役員会を活性化。

専務理事: 斎藤 貴弘(北信中体連)

専務理事: 塚尾 誠貴(北信中体連)

3 R8年度はオリンピックスタジアムが使用できず、県協会と共に催のティーボール大会を11月に行うことはできない。しかし、U-10 カテゴリーで行うティーボールの普及は3年やってみて本当に重要なことだと感じている。そこで、R8年度は、手始めに南長野でティーボールチーム(U-10)をつくり、その後のU-12少年野球チームに入会しやすくしたい。(普及) U-15 南長野は事務局で一括して地域展開したので動きやすくやってみる。また、長野市の北を拠点とした北部キッズBBCも北部中の地域の少年野球の枠を超えてU-10のチームをつくり、毎年7月の県大会にも出場している事例もあり、U-12、U-15ともに地域クラブが一緒になって指導者がつながり、子どももつながり野球の普及につなげていきたい。これまで西澤理事を中心となって実施してくださったU-10交流大会を協会としてもバックアップしていきたい。(ティーボールも含め)

① 「執行部」…事務局、副事務局 会長・副会長、専務理事

広報部 …各種イベント、地域移行の状況を随時発信、U-12・U-15マップの更新、HP管理

事務局 …委員会の統括と、県協会との連携、理事役員会の運営

(対面で年5回、4月8月11月1月+10月~11月(北信野球の日前)と2月(総会前)はオンラインも活用し2週間に1回のペースで行う)

② 財務部 「一般会計」「総務委員会」「寄付委員会」…通年の寄付、総会の運営

③ 普及・継続部 「北信野球の日実行委員会」「小中交流会運営委員会」

「幼保連携普及事業推進委員会」「ティーボール大会運営委員会」

④ 指導・競技力向上部…「競技力向上委員会」「指導力向上委員会」

※「一般会計」…②財務部所属…1月~12月会計担当、総会に向けて会計監査を行う。予算案作成など

R6年度総会「会則の変更→役員の改選、委員会の変更等について(確認)

会則改正(案)

○旧

第12条 本会の事業遂行のため、次の委員会を事務局内に常設し、その他目的達成のために必要な委員会が認められた時に隨時委員会を設置する。

- (1) 北信野球の日実行委員会
- (2) 北信ベースボールサミット実行委員会
- (3) 広報委員会
- (4) 普及委員会
- (5) 指導力向上委員会

となっていました。委員会の変更にともない、以下の文に変更とする提案をします。

○新

第12条 本会の目的の達成や事業遂行のため、必要な部署や委員会を理事役員会で協議の上設置する。

R8 年度 北信地区野球協会組織図 (案)



I. 令和8年度の活動方針

財務部として組織基盤を固め、増大する運営費（備品更新・会場費等）を安定的に確保するため、戦略的な寄付活動を展開する。

総務委員会：効率的かつ質の高い総会運営の継続。

一般会計：透明性の高い会計運用と、物価高騰に合わせた柔軟な予算管理。

寄付委員会：目標額70万円の達成に向けた、新規会員（特に個人）の獲得と周知活動の強化。

2. 令和8年度活動目標

賛助会員の拡大
北信地区野球協会の活動に向けた寄付活動の拡大
持続可能な活動に向けた財源の確保

3. 令和8年度実施事業計画

時期	総務委員会	寄付委員会	一般会計
春季	昨年度総会の振り返り	新ポスター作製・配布	予算執行管理の開始
夏季	次回総会の会場予約	大会会場での直接啓発活動	中間決算の確認
秋季		「北信野球の日」に合わせた集中募金	備品購入費の調整
冬季	総会資料の作成 ⁴	年間寄付実績の集計・お礼状	次年度予算案の作成

4. 令和8年度の予算

総会費（会場費、講師謝礼、講師宿泊費、印刷費、オンライン配信必要経費等）	150,000 参加費 1,000 円 × 70 懇親会費 6,000 円 × 40	・総会準備費用（会場費、講師謝礼、講師宿泊費等） ・印刷代（会議資料等）、事務用品代 ・配信用の PC 周辺機器代
ポスター、掲示物印刷代	50,000 円	・寄付チラシ、ポスター印刷代 20,000 円 ・ティーボール大会、野球の日 寄付の掲示 7,500 円 × 回数分

普及継続部 令和8年度事業計画

部長 宮崎 平（須坂創成高校所属）

1 令和8年度の活動方針

幼保・小学生への普及と競技者の継続

2 令和7年度活動目標

- ① 野球人口増加に向け、未就学児へのアプローチ
- ② 経緯と成果の分析から普及イベントを充実させる
- ③ 野球交流会の運営委員会を立ち上げ、競技継続の一助とする

3 令和8年度事業計画

○北信野球の日実行委員会

第9回北信野球の日 日にち 令和7年11月29日(日)

4～5月 実行委員の選出・委託

6～7月 実行委員会顔合わせ

8～9月 イベント概要考察→理事役員会にて審議

10月～ 第9回北信野球の日に向けたミーティング（定期）

○野球交流会運営委員会

11月29日（北信野球の日と同日）に協会主催の交流会を実施したい

4～5月 実行委員の選出・委託

6～7月 委員顔合わせ

8～9月 会場責任者等の打ち合わせ

11月～ 実施・報告・反省会

○幼保普及推進委員会

4月 実行委員の選出・委託・顔合わせ

5～12月 各地区での幼稚園・保育園へ普及活動

12月～ 実施・報告・反省会

4 次年度の予算

○第9回北信野球の日 予算 550000円

内訳：運営費 200000円 用具費 200000円 広報費 150000円

○野球交流会運営委員会 予算 50000円

○幼保普及推進委員会 予算 50000円

指導・競技力向上部 令和8年度事業計画（案）

1 活動方針

- ・指導者の指導力向上を目指しての講習会の実施や、県協会のライセンス取得の推進
- ・選手の技能向上や健全育成を目指して U10, U12, U15, U18 の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会や大会の実施。（一貫した指導体制の確立）
- ・指導者の資質能力の向上

2 活動目標

自ら考え、学ぶ選手・指導者の育成

～長野県野球育成指標に基づいた指導者の指導力向上と選手の技術力の向上、健全な育成～

3 部内の委員会と所管事業

（1）競技力向上委員会

- ①北信地区中学生野球大会の企画と運営(11月)
 - U-15 軟式カテゴリーの育成を目的とした大会の運営。
 - 各市町村スポーツ課との連携
 - 育成重視のレギュレーションを設け、選手にとって課題発見の場となる大会にする。

②大会の在り方についての検討と提言

これまでの大会運営をもとに、選手の育成につながる大会の在り方や大会数について検討して提言する。

③野球教室の開催と運営サポート

- プロ野球(NPB)OB 選手会による野球教室(5月3日)のアナウンスや運営サポート
- 北信野球の日開催日に北信地区2会場で学童を対象とした野球教室を企画運営する。

④技術力、指導力向上活動

- U-10(小学4年生)以下の大会の運営サポート
- カテゴリー別の技術講習会の開催や巡回指導。各団体で開催される講習会との重複がないよう調整しながら検討し、各団体が主催する講演会等のアナウンスも行う。また、指導者の派遣も要望に応じて行っていく。

(2) 指導力向上委員会

①北信指導者研修会の企画と運営(2月)

総会後の指導者研修会の講師選定等、研修会に関するすべての企画運営を行う。

②指導者ライセンス取得の情報提供

BFJ公認野球指導者資格や日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等の資格取得講座の情報提供や資格取得の呼びかけを行う。

③技術講習会、指導者講習会の企画と運営(通年)

各地域でチームの枠を越えて、選手や指導者が共に学び合う講習会の企画運営。ただし、

4 年間計画案

通 年	<ul style="list-style-type: none">・カテゴリー別技術(指導)講習会の企画と運営・各団体による講習会のアナウンス・指導者ライセンス取得の情報提供
5 月	<ul style="list-style-type: none">・NPB OB 野球教室への協力・U-10(小学4年生以下)大会の協力
10 月	<ul style="list-style-type: none">・U-10(小学4年生以下)大会の協力
11 月	<ul style="list-style-type: none">・北信地区中学生野球大会・第3回ティーボール大会(県協会共催)・北信野球の日 学童野球教室
2 月	<ul style="list-style-type: none">・北信地区野球協会総会 指導者研修会研修内容・講師の選定は概ね半年前から委員で準備する

5 予算

- ・講習会の講師謝礼・交通費等。講師の本拠地や講習内容、これまでの事業等を鑑みて執行部、理事役員会で協議して決定する。
- ・大会や講習会の開催や協力にかかるグラウンド使用料や物品費などの諸経費。

令和8年度 北信地区野球協会 会計予算(案)

(令和8年1月1日～令和8年12月31日)

北信地区野球協会会长 村上 尚三

会計 小玉 泰明

1 収入の部	1,578,011 円
2 支出の部	1,578,011 円
3 差引残高	0 円

[収入の部]

項目	令和8年度予算額	内訳
繰越金	188,011	令和7年度北信地区野球協会繰越金
補助金	500,000	長野県野球協会
	100,000	長野市スポーツ課 *長野市大会の委託費として
寄附金	700,000	
協力金	20,000	長野スポーツフェスティバル
総会参加費	70,000	1人1,000円×70名
収入合計	1,578,011	

[支出の部]

項目	令和8年度予算額	内訳
(1) 執行部・事務局	330,000	
1、総会費	100,000	会場費、印刷費
2、交通費	50,000	派遣費用
3、ホームページ制作、管理運営	80,000	ホームページ維持管理費
4、旅費	100,000	各委員会、事業運営スタッフ分
(2) 指導・競技力向上部	230,000	
1、北信地区交流大会運営費	100,000	会場使用料、用具、企画
2、講演会企画費	50,000	企画、会場使用料
3、野球教室企画費	50,000	会場使用料、用具、企画
4、予備費	30,000	各企画の広告費、用具費
(3) 普及・継続部	600,000	
1、北信野球の日 運営費	200,000	オリスター・長野県営球場使用料、保険料、接待費、企画
2、用具費	200,000	新規用具購入、用具、ボール(普及イベント・幼保活動含)
3、広告費、チラシ代	150,000	
4、U-10交流会運営費	50,000	会場使用料、用具、企画
*Tボール大会の運営については、長野県野球協会より補助金をいただきながら運営していく。		
(4) 各委員会	200,000	
1、会議費	100,000	資料作成、印刷費、事務用品代、ZOOM年会費等
2、講師への謝礼	100,000	各企画の講師への謝礼
(5) 予備費	218,011	備品整備や普及活動などにあてる。持続可能な組織となるために資金に余裕を持たせて運営する。
支出合計	1,578,011	